

歴史上の人物がきっかけで旅行に行ったことがある人は約 6 割！
「旅行に行くきっかけになった歴史上の人物」
人気第 1 位は教科書から消える候補の“坂本龍馬”と“マリー・アントワネット”！
～DeNA トラベルが「歴史上の人物を訪ねる旅」に関する調査を実施～

オンライン総合旅行サービス「DeNA トラベル」(<http://www.skygate.co.jp>) を運営する株式会社 DeNA トラベル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大見 周平）は、の男女 218 名を対象に「歴史上の人物を訪ねる旅」に関する調査を実施しました。

調査背景

昨今、「地方創生」や「地域活性化」という言葉をよく耳にするようになりましたが、それに伴い各所で観光まちづくりが更に活発になっています。街づくりの柱になるのがその町々の歴史や文化ですが、その一方で、高校の歴史の教科書から歴史用語を削減することが提唱されています*。

そこで、歴史を学んだことが、実際に旅行をするきっかけになったかどうか？についてアンケート調査を実施しました。

* 高大連携歴史教育研究会 高等学校教科書および大学入試における歴史系用語精選の提案（第一次）：
http://www.kodairen.u-ryukyu.ac.jp/pdf/selection_plan_2017.pdf

【調査概要】

調査 1：今まで歴史上の人物がきっかけで旅行に行ったことはありますか？

→過半数が歴史上の人物がきっかけで旅行に行った経験あり！

国内・海外問わず歴史上の人物がきっかけで旅行に行った経験がある人は全体の 57.3%を占めました。更に、国内・海外旅行共に経験がある人は 25.2%と全体の 1/4 以上となりました。

調査 2：（歴史上の人物がきっかけで旅行に行ったことがある人）実際に誰に影響を受け、どこに行きましたか？

→国内は圧倒的大差で「坂本龍馬」。海外は「マリー・アントワネット」と「モーツァルト」が同率 1 位

1 位の「坂本龍馬」(15.7%)、3 位「松田松陰」(4.6%)、4 位「武田信玄」「上杉謙信」(3.7%)、そして外国編第 1 位の「マリー・アントワネット」(5.6%) は高校の歴史用語から外される候補として取り挙げられています。実際の人気の高さが伺えます。

調査 3：歴史上の人物の影響で行きたいと思っている場所はありますか？

→62.4%の人が「はい」と回答

調査 4：（歴史上の人物の影響で行きたいと思っている場所が「ある」人）誰の影響で旅行に行きたいですか？

→やっぱり強い！「坂本龍馬」。海外編ではロマン溢れるサグラダファミリアの生みの親「アントニオ・ガウディ」が 1 位に。

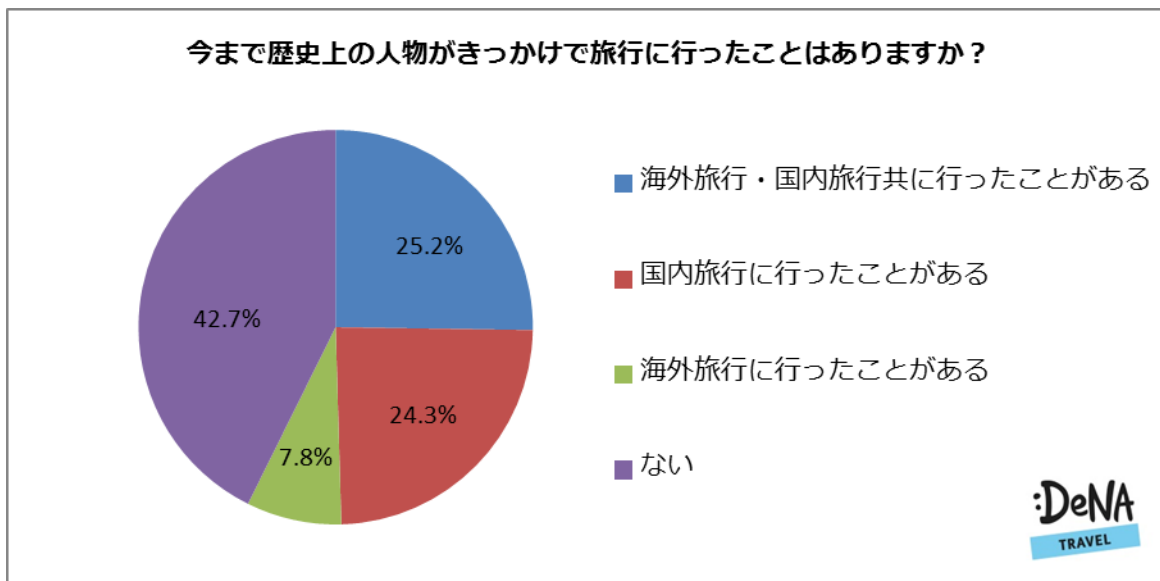
坂本龍馬は数多くの読み物が出版されており、生き様に共感を得た人々が多いことが伺えます。一方、ガウディは「建築を始めて 135 年経っても未だ完成していない、奇跡のような建物をこの目で見てみたい！（60 代・男性）」など、サグラダファミリアに詰め込まれたロマンに魅力を感じている人が多いようです。

調査 5：今だからこそいてほしい歴史上の人物は誰ですか？

→「カリスマ性がある」という理由で「織田信長」が 1 位！日本の変革を期待する声が多数。2 位には「坂本龍馬」がランクイン！

【調査 1：今まで歴史上の人物がきっかけで旅行に行ったことはありますか？】

「今までの歴史上の人物がきっかけで旅行に行ったことはありますか？」と聞いたところ、「海外旅行・国内旅行共に行ったことがある」と回答したのが 1/4 以上となる 25.2%、「国内旅行に行ったことがある」が 24.3%、「海外旅行に行ったことがある」が 7.8%となりました。海外・国内問わず半数以上の人々が歴史上の人物がきっかけで旅行に行った経験があることが分かりました。



【調査 2：実際に誰に影響を受け、どこに行きましたか？】

今までの歴史上の人物がきっかけで旅行に行ったことがある人に対し、「実際に誰に影響を受けたのか」を聞いたところ、国内の場合 1 位は 2 位の「新撰組」（7.4%）に圧倒的な差をつけて「坂本龍馬」（15.7%）となり、続く 3 位には「吉田松陰」（4.6%）がランクインしました。1 位の「坂本龍馬」と 3 位の「吉田松陰」、4 位の「武田信玄」「上杉謙信」（3.7%）は、高大連携歴史教育研究会の提唱する高校の歴史用語の精選案から漏れており、消される候補としてよくメディアでも取り上げられていますが、実際の人気の高さが伺えました。

「坂本龍馬」に関しては、坂本龍馬のお墓がある「京都霊山護国神社」や寺田屋事件の舞台である「寺田屋」、銅像や記念館がある「桂浜」、2 位の「新撰組」はゆかりの地が各所にある「京都」や「多摩」、新撰組の中でも人気の高い土方歳三が生涯の幕を閉じた「函館」が行き先として挙がりました。3 位の「吉田松陰」は世界遺産にも指定された「松下村塾」の人気の高いようです。

DeNA TRAVEL 【国内編】旅行先に影響を与えた歴史上の人物ランキング			
順位	人物	行先（抜粋）	割合 (n=108)
1位	坂本龍馬	護国神社（京都） 寺田屋（京都） 桂浜（高知）	15.7%
2位	新撰組※	京都 函館（北海道） 多摩（東京）	7.4%
3位	吉田松陰	松下村塾（山口） 松陰神社（東京）	4.6%
4位	上杉謙信	春日山城跡（新潟） 林泉寺（新潟）	3.7%
4位	織田信長	安土城跡（滋賀） 本能寺（京都）	3.7%
4位	武田信玄	武田神社（山梨） 川中島古戦場（長野）	3.7%

※「土方歳三」などの個人名も合算しています。

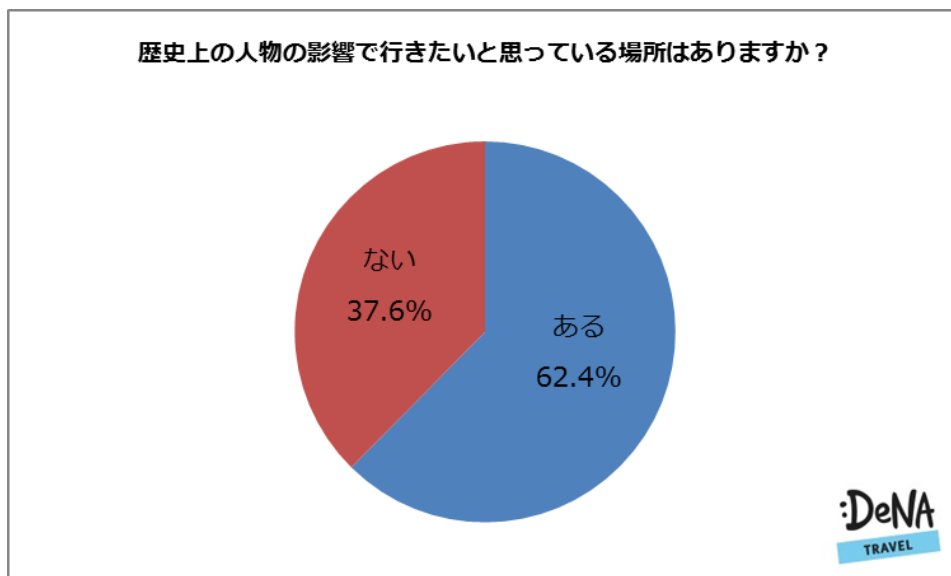
一方、海外の場合は「マリー・アントワネット」と「モーツァルト」が同率で 1 位（5.6%）となりました。3 位には「アンネ・フランク」「イエス・キリスト」「レオナルド・ダ・ヴィンチ」「メアリー・スチュアート」（2.8%）が並び、音楽家・芸術家・王妃など、幅広い人物が挙げられました。

「マリー・アントワネット」も歴史の教科書から消える可能性が指摘されており、人気との乖離を感じます。

DeNA TRAVEL 【海外編】旅行先に影響を与えた歴史上の人物ランキング			
順位	人物	行先（抜粋）	割合 (n=72)
1位	マリー・アントワネット	ベルサイユ宮殿（フランス・パリ近郊）	5.6%
1位	モーツァルト	生家（ドイツ・ザルツブルク） お墓（オーストリア・ウィーン）	5.6%
3位	アンネ・フランク	隠れ家（オランダ・アムステルダム）	2.8%
3位	イエス・キリスト	聖誕教会（パレスチナ・ベツレヘム） エルサレム（イスラエル）	2.8%
3位	レオナルド・ダ・ヴィンチ	サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会（イタリア・ミラノ）	2.8%
3位	メアリー・スチュアート	エジンバラ城（スコットランド・エジンバラ） ホルロードハウス宮殿（スコットランド・エジンバラ） ウエストミンスター寺院（イギリス・ロンドン）	2.8%

【調査 3：歴史上の人物の影響で行きたいと思っている場所がありますか？】

「歴史上の人物の影響で行きたいと思っている場所がありますか？」と聞いたところ、「ある」と回答したのが 62.4%と過半数を占めました。



【調査 4：（歴史上の人物の影響で行きたいと思っている場所が「ある」人）誰の影響でどこに行きたいですか？】

歴史上の人物の影響で行きたいと思っている場所が「ある」と答えた人に対し、「誰の影響でどこに行きたいか」を聞いたところ、国内編ではまたしても「坂本龍馬」が 1 位（13.8%）となりました。理由としては「龍馬の脱藩の想いを実感してみたい。（50 代・女性）」『竜馬がいく』を読み長年のファンです。龍馬の軌跡を訪ねたいと思っています。（50 代・男性）」など数多く出ている出版物等を読んで、坂本龍馬の生き様に共感した人が多いのだと推察されます。また、2 位の「源義経」（5.3%）は「戦の天才」と呼ばれただけであり、終焉の地である「平泉」を訪れたいという回答が多く見られました。

【国内編】誰の影響でどこに行きたいですか？			DeNA TRAVEL
順位	人物	訪れたい場所（抜粋）	割合 (n=94)
1位	坂本龍馬	坂本龍馬記念館（高知） 桂浜（高知） 伏見（京都） 五島列島（長崎）	13.8%
2位	源義経	平泉・中尊寺（岩手） 屋島（香川）	5.3%
3位	織田信長	安土城跡（滋賀） 岐阜城（岐阜）	5.3%
4位	新撰組※	壬生寺（京都） 五稜郭（北海道） 碧血碑（北海道）	5.3%
5位	西郷隆盛	田原坂（熊本） 西郷隆盛宿陣跡資料館（鹿児島）	4.3%

※「土方歳三」などの個人名も合算しています。

また、海外編では1位は「アントニオ・ガウディ」（6.1%）、2位に「マリー・アントワネット」（5.1%）、その後「ショパン」「ナポレオン」「ヒトラー」「ローマ法王」「諸葛孔明」（3.0%）が続き、バラエティ豊かな名前が揃いました。「アントニオ・ガウディ」については、「建築を始めて135年経っても未だ完成していない、奇跡のような建物をこの目で見てみたい！（60代・男性）」など、サグラダファミリアに詰め込まれたロマンに魅力を感じている人が多いようです。

その他、「マリー・アントワネット」と回答した人は全員女性で「家族でベルサイユのバラを見て、行きたいと思った。（40代・女性）」など、少女マンガの影響を受けた人も見られました。また、3位の「諸葛孔明」の他にも「関羽」「劉備」といった名前も挙がっており、三国志の人気の高さも伺えます。

【海外編】誰の影響でどこに行きたいですか？			DeNA TRAVEL
順位	人物	訪れたい場所（抜粋）	割合 (n=99)
1位	アントニオ・ガウディ	サグラダファミリア（スペイン・バルセロナ）	6.1%
2位	マリー・アントワネット	ベルサイユ宮殿（フランス・パリ近郊）	5.1%
3位	ショパン	ポーランド ウィーン（オーストリア）	3.0%
3位	ナポレオン	アウステルリッツ（チェコ・ブルノ近郊） ベルサイユ宮殿	3.0%
3位	ヒトラー	ダッハウ強制収容所（ドイツ） アウシュビッツ強制収容所（ポーランド）	3.0%
3位	ローマ法王	バチカン市国	3.0%
3位	諸葛孔明	五丈原（中国）	3.0%

【調査5：今だからこそいてほしい歴史上の人物は誰ですか？】

「今こそいてほしい歴史上の人物」について聞いたところ、1位は「織田信長」（11.9%）、2位に「坂本龍馬」（9.8%）3位が同率で「西郷隆盛」「徳川家康」「聖徳太子」（2.8%）となりました。

今だからこそいてほしい歴史上の人物		DeNA TRAVEL
順位	人物	割合 (n=143)
1位	織田信長	11.9%
2位	坂本龍馬	9.8%
3位	西郷隆盛	2.8%
3位	徳川家康	2.8%
3位	聖徳太子	2.8%

「織田信長」については「カリスマ性」を挙げる人が多く、2位の「坂本龍馬」については、彼の名言から「今一度日本を洗濯してほしい」という声が多く聞かれました。いずれにしても日本が変革の時代を迎えていると認識している人が多いようです。

■「織田信長」に対するイメージ

- ・時代の先取りが出来た人。(60代・男性)
- ・カリスマ性がすごそう。(30代・女性)

■「坂本龍馬」に対するイメージ

- ・カッコいい。(60代・男性)
- ・視野が広い。(60代・男性)
- ・好奇心・行動力旺盛。(60代・女性)
- ・自由で何のものにもとらわれない精神と柔軟さが魅力的。(50代・女性)
- ・誰とでも仲良くできそう。(30代・男性)

【調査概要】

調査タイトル：「歴史上の人物を訪ねる旅」に関するアンケート調査

調査対象：男女 218名

調査期間：2017年11月28日（火）～12月1日（金）

調査方法：インターネット調査

調査主体：株式会社 DeNA トラベル

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 DeNA トラベル PR 担当：稲葉

TEL:03-6866-5975 FAX:03-6866-5970

E-Mail: media-pr@dena-travel.com